



学

図

司



得意なこと

カウンターでの笑顔

笑顔で窓口対応すること。



なぜ大学図書館員になったのか

本当は大学職員になりたかったのですが、大学卒業時に職についておらず、友人に紹介されたのが大学図書館の非常勤職員でした。応募したところたまたま採用していただき、その後国立大学法人統一試験の図書系の試験を受けて、採用されました。ありがたい縁(えん)です。

得意な(好きな)仕事

カウンター作業、レファレンス(調べもの)、ガイダンスや利用者教育
得意かどうかわかりませんが、わくわくします。

苦手な(嫌いな)仕事

雑誌や図書の会計仕事。

事務仕事が苦手です。しかしながら他のどんな仕事でも必ずぶつかる業務ですので、工夫して乗り切るしかなさそうです。

大学図書館で働く推しポイント

知的好奇心は満たせると思います。最先端の論文にアクセスでき、大学の蔵書である専門書も手の届くところにあります。大学は基本自然に囲まれたキャンパス内にあることが多いので、四季を感じながらリフレッシュできます。福利厚生はしっかりしており、長く働けます。

私が考える2050年の大学図書館

蔵書がすべて電子化...にはなってほしくないですね。蔵書は電子と紙がうまく共存して、場所として、もっと学問(人)にアクセスできる場所であってほしい。